

日本バウハウス協会  
講演 (オンライン)  
2023年12月15日 (金)  
19:00-20:30



# 浅野 忠利

## 修道院からモダニズムへ なぜ手工業職人がドイツ文化の担い手になったのか？

バウハウスとモダニズム、さらに現在の建築・デザインへと続くドイツの精神と風土について、信頼社会、手工業をはじめ、以下のキーワードをもとに考えます。

1. 信頼社会：自由を入りに寛容を出口に

キリスト教を受容したゲルマン民族 / カエサルとタキトスの見たゲルマン民族 / 修道院の知と技を受け継ぐ / 自由と平等を追求するドイツ語圏の哲学と思想 / 大衆社会

2. 手工業者の創り上げたもの

職業観＝共同体への奉仕をとおして自己の自由を実現する / 賜物（財と知と技）を生かし、伝える / 高い倫理性と合理性 / ロマネスクとゴシック / 中世都市 / 社会民主党 / ワイマール共和国とバウハウス / 職業教育システム / 共同決定法 / モダニズム

3. アジェンダ 2010：SPD（社会民主党）の振るった信頼社会の鞭

東西ドイツの統一のコスト / 統一後のドイツ経済 / アジェンダ 2010 の中の手工業 / 奇跡の経済回復

講師 浅野忠利（あさのただとし）氏

1937年岡山県生まれ。早稲田大学第一理工学部建築学科卒業。1961年株式会社竹中工務店に入社、住宅本部長、取締役を経て1999年常務取締役、2005年退任。

その間、1966-68年西ドイツ・ウルム造形大学に留学（1967年助手）

現在：経済同友会同友クラブ理事、NPO法人文化日独コミュニティ理事、一般社団法人日本バウハウス協会顧問、日本基督教団富士見町教会会員（長老）、一般社団法人日本建築学会終身会員、NPO法人建築技術支援協会会員  
近著に『修道院からモダニズムへ：ドイツ手工業職人の精神と系譜』教文館（2023）

主催 日本バウハウス協会（お問い合わせ）

<http://nipponbauhaus.jp>

講演は無料 (Zoom)

講演申し込みは2次元コードまたは下記 URL

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_MGIOsIH7SQWQI7XrsQdl\\_g](https://zoom.us/webinar/register/WN_MGIOsIH7SQWQI7XrsQdl_g)

